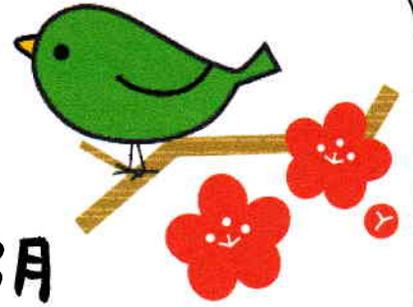




# 徳成寺

## 寺ともかわら版

### 第123号 2017年 3月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

この度、春の法要に介護福祉士の管納さんをお招きするにあたり

あらためて介護を考えました。他人に介護されることを恥ずかしく

思う心が私たちの中にあるように思います。どんなに元気でも最後は

他人のお世話にならないといけません。長年住職をしています、

自分でお棺の中に入って亡くなった方を見たことはありません。なのに

他人のお世話にならないことが一人前になることだと思うのはなぜでしょう。

見返りが無いからでしょうか。見返りのない徒勞に耐えられないのが私たち

人間ですが、仏様の心は、たとえ徒勞に帰し最後まで実現しないとしても私たち

に願いをかけ続けずにはおかない心です。そういう仏様の折れない心に

出会い、私たちも折れない生き方をして参りましょう。

\*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

—発行責任者—

住職

大山健児

坊主

大山ひとみ



## 徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

長男です。真宗大谷派教師資格後期修練を無事に終えました。

正座のし過ぎで膝が壊れそうになったり、そして厳寒の京都を手配ミスで夏服で過ごすハメになるというハプニングだらけの修練でしたが、お陰様で怪我も病気もなく過ごす事が出来ました。

修練では各施設間の移動が大変で、夏服のまま外に出なければならないシチュエーションに遭遇することが多く、寒さが堪えました。ただ、厳しい寒さを乗り切ったおかげか、最終日に教師補任の宣誓を行ったり、久々に得難い経験もする事が出来ました。(この時、雪が降ってて半泣きになってました)

帰りの新幹線まで時間があったので、京都の名店第一旭に行ったのですが、夕焼けを眺めながら見るラーメンの美味しいこと美味しいこと。温かさを噛み締めた次第でした。

